

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第 2 年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	東京海上日動火災保険株式会社		
事業所の名称	仙台東京海上日動ビルディング		
事業所の所在地	仙台市青葉区中央2-8-16		
主たる事業	保険業（保険媒介代理業、保険サービス業を含む）		
事業者の該当要件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	○	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	457.7 t-CO ₂	基準原単位	0.04144
	目標年度	2025 年度	目標排出量	457.7 t-CO ₂	目標原単位	0.04144
			削減率	0.00 %	削減率	0.00 %
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
温室効果ガスの排出状況	第 1 年度	2023 年度	排出量	414.9 t-CO ₂	排出原単位	0.03756
			削減率	9.35 %	削減率	9.36 %
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	温室効果ガス排出量が減少し、削減率は目標を大幅に上回った。理由としては、東北エリアでの広域自然災害減少による消費電力の削減やこれまで取組んだ基本対策の効果が挙げられる。				
	第 2 年度	2024 年度	排出量	328.3 t-CO ₂	排出原単位	0.02972
			削減率	28.27 %	削減率	28.28 %
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	温室効果ガス排出量が減少し、削減率は昨年に続き目標を大幅に上回った。理由としては基本対策の定着や重点取組みとして掲げた各種施策(蛍光灯の照度変更、EVの稼働台数削減、ビル全体の空調管理等)の効果が挙げられる。				
	第 3 年度	2025 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	77 %	目標年度	77 %
	第1年度	77 %	実施状況の説明等	ビル設備上、対応不可な項目を除き、実施済みである。
	第2年度	85 %	実施状況の説明等	前年度同様の対応に加え、照明のLED化を促進中。(来年2月に完了予定。)
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	デマンド管理		実施済
	窓の断熱性向上		実施済
	外気冷房		実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	(事業所での取組み) 執務室フロア・会議室における照明器具の間引きにより、消費電力を削減する。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	(事業所での取組み) 照明器具点灯時間に関するルールを明確化し、電力消費量の削減に努める(昼休憩時間中の消灯等)。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	(全社レベルの取組み) 「マングローブ植林によるCO2の吸収・固定」「グリーン電力証書/非化石証書/カーボン・クレジット(排出権)等の購入」を実施することにより、国内事業活動における「カーボン・ニュートラル」実現を目指す。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	(全社レベルの取組み) 環境マネジメントシステム「みどりのアシスト」を導入し、環境法令遵守を含むPDCAを実行することで地球環境保護の取組み推進と継続的な取組み改善を図る。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	(全社レベルの取組み) 「サステナビリティ研修(e-learning形式)」「ニュース・レター等による情報発信」等を行い、資源・エネルギーの効率的な利用に向けた環境啓発活動を実施。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	(事業所での取組み) 執務室フロア・会議室における照明器具の照度を変更による消費電力の削減。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	(事務所での取組み) エレベーターの稼働台数の制限による消費電力の削減。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	(事務所での取組み) 自動販売機のecoモード運転による消費電力の削減。	実施済